

大方高校

防災だより No. 3 平成30年 6月 18日発行

編集 平成30年度防災委員
地域学選択生徒

■保小中高合同避難訓練 (5月16日 (水))

保育園、小学校、中学校と合同で避難訓練を行いました。

私たち防災委員は保育園児の非難のお手伝いをしました。泣いたり、ぐずったりするかと思っていましたが、みんなすぐに行動することができました

途中、バギーが段差に引っかかったりして大変なところもありましたが、無事、児童公園まで避難できました。保育士さんがずっと声をかけていたり、抱っこしながら他の園児を気にかけていたりしている姿をみて、すごいと思ったし仕事の大変さにも気づきました。



○気づいたこと、反省点

- ・本当におきたときはパニックになったり、大泣きしたりすると思うから、手助けできるように日ごろから自分がしっかりしておこうと思った
- ・本当に避難するときは、自分が通るところを確認しながら周りの人と助け合って避難したい
- ・危険なところを探しながら避難すればよかった
- ・自分の体力の無さに気付いた。普段から体を動かす
- ・自分は早く逃げれたけど、周りの人への声かけができなかった
- ・おしゃべりしていると危険なところを教えてくれても聞こえなくなる
- ・家の壁やプランター、置いているバイクなどがあり、地震だと落ちてきたり倒れてりするので危険
- ・坂が長いので、お年寄りや介護が必要な方は逃げれるか心配
- ・道がわかりづらいので、標識を置いたらいい

■オリジナルHUG作成中 (地域学)

地域学Ⅰの授業で、オリジナルHUGをつくっています。

きっかけは、市販のHUG(避難所運営ゲーム)では黒潮町の災害をイメージできないので、より現実に近いものを作ろうということでした。そのゲームで、もしもの事態を想定し、率先して動けるようになりたいと思っています。

現在、オリジナルHUGを作るにあたって、避難所となる学校の施設を調査し、データをまとめています。

夏休み前の完成を目指して頑張っています。



■防災プチ知識

「お風呂で地震が起きたらどうしよう？」

そんなことを考えたことはありませんか？ 入浴中に地震が起きたらまずドアを開け、洗面器などで頭を守りましょう。揺れがおさまったら、鏡が割れたりカミソリなどが落ちていないか確認します。脱衣所に出て、バスタオルを巻いて服を持ち、外に出れる用意をしましょう。そのためには、大型のバスタオル、ストールなどを用意しておくといいです。

最悪、裸に近い状態で外に飛び出すこともあるけれど、家の下敷きになると裸を一瞬みられるのと・・・どっちが嫌かな・・・どっちも嫌か。

■今後の予定

- ・HUG体験
- ・防災講演会 (7月4日)
- ・避難タワー一見学 (地域学)
- ・オリジナルHUG完成
- ・シェイクアウト訓練
- ・第2回避難訓練